

2. 西暦年と時分秒

- 1) 西暦年 (1868 以上) を入力して明治・大正・昭和・平成何年か表示する。
(それぞれの元年は 1868, 1912, 1926, 1989 である)
- 2) 西暦年を入力して干支を表示する。
(1984 年がネで以下ウシ, トラ, ウ, タツ, ミ, ウマ, ヒツジ, サル, トリ, イヌ, イである)
- 3) 西暦年を入力して閏年かどうかを判定する。
(グレゴリオ暦: 4 で割り切れる年が閏年、ただし 100 で割り切れるとき、100 で割った商が 4 で割り切れない年は平年)

1868	明治	
1912	大正	
1926	昭和	
1989	平成	
2000	平成	12

隣合う 2 列 (A 列と B 列) に西暦年と元号を入力する。調べたい西暦年を [A5] に入力する。データベース関数 vlookup を利用する。

[B5] に =vlookup(A5,A1..B4,2)

[C5] に =A5-vlookup(A5,A1..B4,1)+1

西暦年 y が平年となるのは

=or(mod(y,4)<>0,and(mod(y,100)=0,mod(y/100,4)<>0))

- 4) h(時間) m(分) s(秒) を入力して n (秒) を示す。
- 5) n (秒) を入力して h(時間) s(分) s(秒) を示す。
- 6) 開始時間 i_1 (時) j_1 (分) k_1 (秒) と終了時間 i_2 (時) j_2 (分) k_2 (秒) から経過時間を示す。
- 7) 2 組の西暦年月日 yy/mm/dd の間の日数を計算する。

例えば、誕生日から本日までの日数を求める。今日から定年までの日数を求める。

Excel のセルに時 : 分 : 秒を入力するには =time(13,15,20) のように入力すると、13:15:20 と表示される。この表示形式は、セル書式によって異なる。例えば出力セルを指定して、メニューの書式のセルから表示形式の時刻から種類を変更すれば、1:15 PM という表示もできる。時間計算では、時間をシリアル値に変換して行う。シリアル値は 0 ~ 0.99999999 の範囲の値で、=timevalue("13:15:20") のように入力して得られる。シリアル値 x から時・分・秒を得る関数は =hour(x), =minute(x), =second(x) である。

経過日数は、例えば =datedif("1980/4/1",today(),"d") であり、"d" の代わりに "m", "y" なら経過月数、経過年数が得られる。